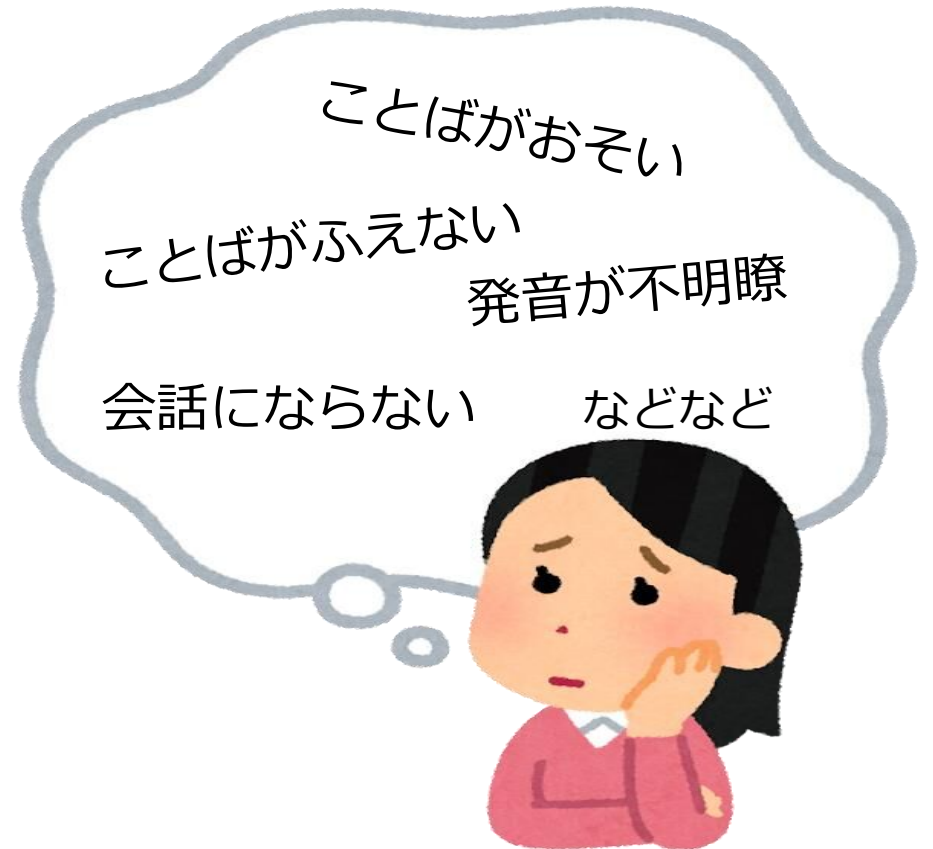


2025年7月 もちもち三二講座

ことばの発達を促す 関わり方のコツ

こどものことばの発達はとても個人差
が大きいものです。
まわりのお子さんといっしょに比べてしまっ
て不安になることもあるでしょう。
どうか焦らずにこどもの成長を見守り
楽しいコミュニケーションをはかって
いきましょう。



ことばの3つのはたらき

伝える

「ジュースちょうだい」

「わたしがする！」

考える

「ぼうしどこにあったっけ？」

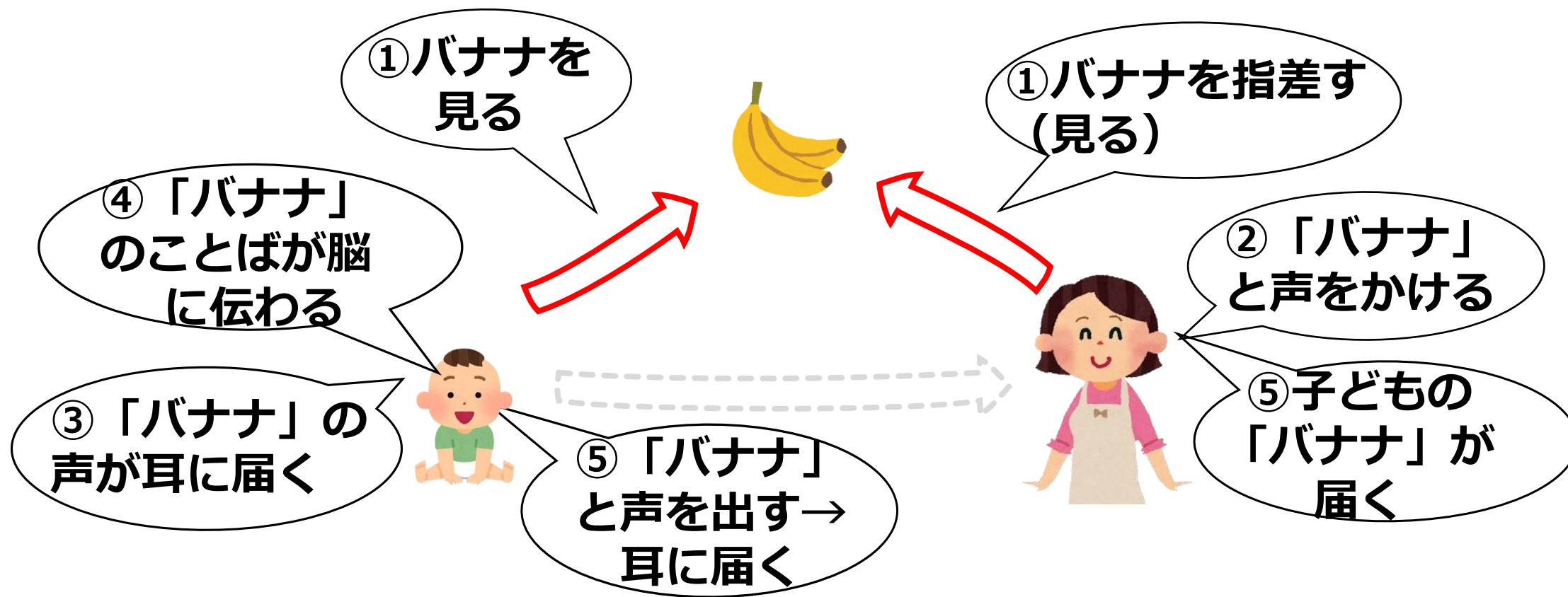
「まず洗濯して、メールチェックして、買い物行って...」

きもちや
行動を
調整する

「おいしそう！でもダイエット中だからがまんしなくちゃ...」

「よいしょ、よいしょ」

ことばを覚えるしくみ



脳内の電線が電気がとおりやすくなるために、身体や心が健やかであることや安心できる環境が大事！

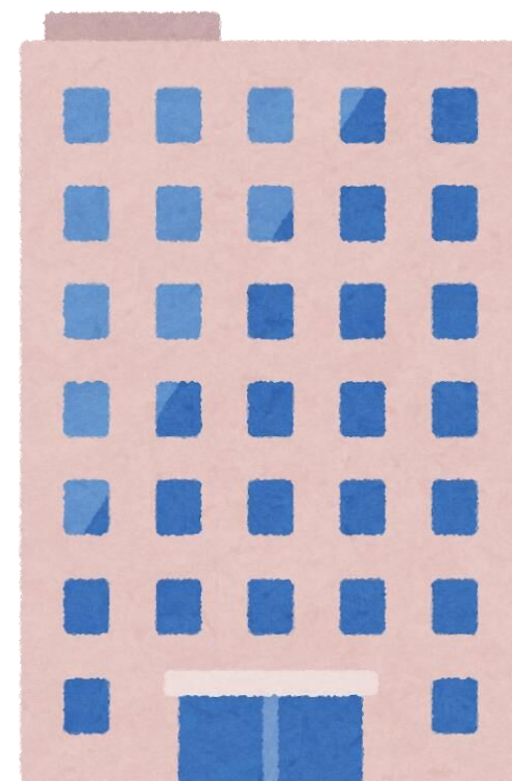
ことばを育むために

- ことばのビルという考え方

引用 中川信子（１９９８）健診とことばの相談 ぶどう社

ことばは全体発達の一部、ビルの最上階

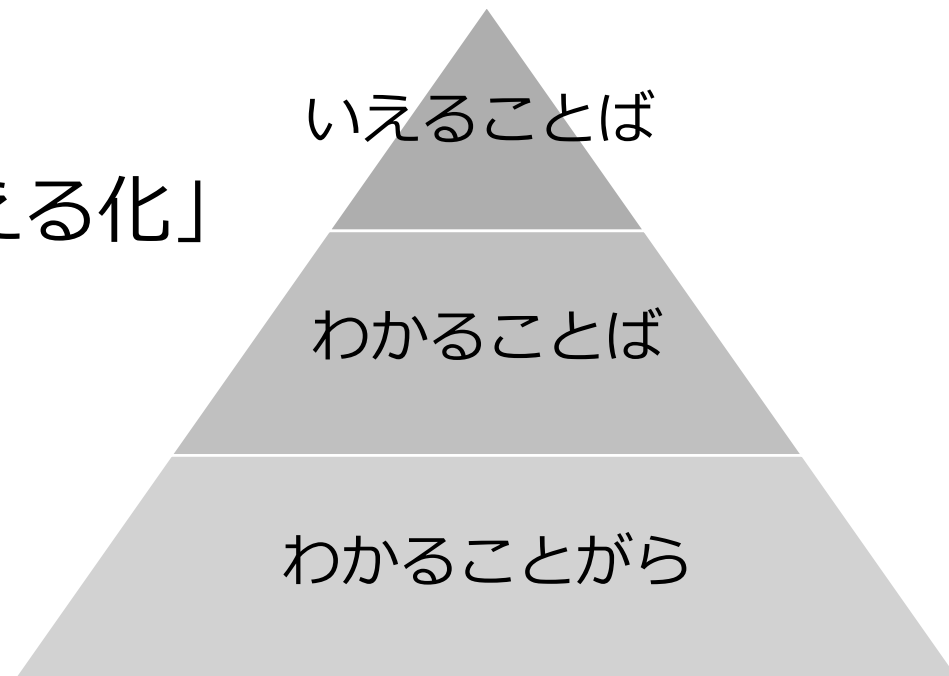
規則正しい生活や発達に沿った十分な運動、
情緒の安定、遊びの中で手を使うこと、
楽しく遊ぶことが、ことばが育つ土台です



ことばを育むために

- 言えることばをふやすには、わかることば、わかることからを増やしましょう

わかることをふやすために
聞かせるだけでなく、情報を「見える化」
して視覚的に理解できるように
働きかけるのもコツです



ことばかけのコツ①

- リズムカルなことばをつかってみましょう
ナイナイしょ、ポイして、など
- 学習は「まねる」こと。こどもの声や言葉をそのまままねてみましょう
子「アババ」→ 親（??）「アババ」→子「アババ、アババ！」
ことばや声だけでなく、行動をまねるのもgoodです
- こどものしている行動や気持ちを語りかけましょう
親「でんしゃながくつなげてるね」
「パパおでかけしちゃさみしいね」

ことばかけのコツ②

- こどもの言葉を意味的、文法的にひろげるために、ほんのちょっと付け足してみよう

子「ンゴ、ンゴ（りんご）」

→ 親「りんご たべる？」、「りんご あかいね」

- こどもの発音や文法のまちがいを直してきかせましょう。ただし否定はNG！

子「あ、チリン（きりん）」→ 親「そうだね、きりんだね」

- こどもの話題に合わせながら、新しいことばのモデルを示しましょう。

子「デンシャ」 → 親「特急電車だ はやいね」

ことば

ことばがわかる

構音器官の
訓練



ことばを教える



聴く力を育てる

ことばで
わかり合う



豊かな体験・経験



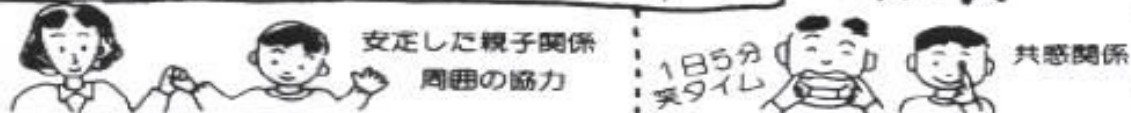
楽しくあそぶ



手を使う



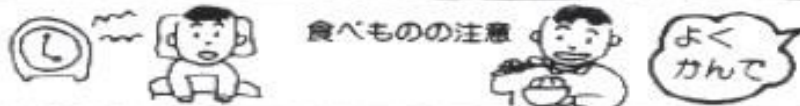
情緒の発達



体の発達にそった
十分な運動



規則正しい生活



引用 中川信子 (1998)
健診とことばの相談 ぶどう社